

さまざまな管・弦・鍵盤楽器の音色で

チェンバロ、チェロ、フルートなど29種の音色をワンタッチセレクト

① さまざまな楽器音が楽しめる29の音色

ピアノ、チェンバロ、オルガンなどの鍵盤楽器はもちろんのこと、ハーブ、琴、チェロなどの弦楽器、トランペット、トロンボーン、フルート、クラリネットなどの管楽器に至るまで、29種の音色の選択もワンタッチ。しかも、なじみやすい鍵盤なので、簡単に演奏を楽しむことができます。

② 無限に広がる美しい音色の世界

楽器によって音の立ち上がりや持続音に特徴がありますが、カシオトーンはトーンスイッチ1・2を切り換えることにより29の音色がそれぞれ2つの表情を持ちます。また、情感豊かなビブラート効果もスイッチをONするだけで容易に得られます。さらに、サスティンペダル、フットボリュームなど別売アクセサリーを接続すれば、音の世界がさらに広がります。

③ カシオ独自の画期的な音色セレクトシステム

プレイ/セットスイッチを“セット”にするだけで、29の白鍵すべてが音色セレクトキーに早替り。しかも音色を耳で確認しながらセレクトできます。この画期的なシステムにより、操作は驚くほど簡単になりました。

④ コード演奏も楽しめる8音ポリフォニック

コード演奏に充分な8音ポリフォニックです。ピアノ、チェンバロなどの音色で使えば、鍵盤楽器本来の持ち味を發揮。また、管・弦楽器でもアンサンブル効果が生まれます。

⑤ 音色を記憶させる4つのトーンメモリー

29種の音色からお使いになる音色をあらかじめメモリーしておけば、トーンメモリーのセクターを切り換えるだけで演奏中でも思いのままに音色が変えられます。メモリーできる音色は4種まで。演奏がさらに多彩になります。

⑥ 最新のLSI技術により「小型・高性能」を実現

電子楽器もデジタル化の傾向をたどっていますが、デジタル技術に関してはまさにカシオの独壇場です。コンピュータ等で培った最高のデジタル技術を駆使して、2チップLSIによる電子楽器を実現しました。これにより小型化、高性能化はもちろん、高い信頼性をも同時に達成しました。

⑦ ソロでもアンサンブルでも演奏が楽しめます

ソロによる演奏はもちろん、カシオトーン同志でもアンサンブル(合奏)が楽しめることが大きな魅力。アンサンブルでは、従来の電子楽器と異なり、音色に特色のある楽器音が出せるため、まるで複数の異なった楽器で合奏しているような効果が得られます。

⑧ どこでも演奏できる小型・軽量のコンパクト設計

小型で軽いポータブルタイプなので場所をとらず、いつでもどこでもすぐ演奏が楽しめます。

⑨ 外部スピーカー、ヘッドホンを使うこともできます

内蔵スピーカーで演奏できるだけでなく、お手持ちのステレオセットに接続すれば、さらに迫力あるサウンドを手軽に楽しむことができます。また、ヘッドホンを使用すれば、深夜でも周囲に気がねすることもなく思う存分演奏が楽しめます。

⑩ 使いやすいシンプルな操作パネルで演奏は簡単

電子楽器特有のスイッチやレバーの氾濫は、カシオトーンとは無縁です。何よりも操作性を考え、演奏だけに集中できるように演奏者の立場から設計されています。ですから、小さなお子様でもすぐに理解できます。

⑪ さまざまな外部機器を接続することができます

サスティンペダル、フットボリュームをはじめエコーマシナやイコライザーなども接続できます。これらをフルに活用すれば、今までの楽器では考えられないような新しい音楽表現ができます。



音色のセットと演奏方法

- ①PLAY/SETスイッチをSETにすれば、29の白鍵が29種の音色を選択するキーになります。
- ②TONE MEMORY セクターを、1-4のうち音色をセットしたいメモリー番号に合わせます。
- ③メモリーしたい音色の白鍵を押してPLAY/SETスイッチをPLAYに戻せばセット完了。(例えばTONE MEMORY セクターを2に合せ、白鍵22を押せば、2にチェロがセットされます。)
- ④以下、同様の操作でTONE MEMORY セクターにセットした4種の音色は、演奏中でも自由に変わります。
- ⑤演奏中、TONE スイッチを1あるいは2にしたリ、VIBRATO を ON にすれば、さらに音色の幅が広がります。

※なお、TONE MEMORYにはあらかじめ以下の4つの音色がセットされています。

1.....エレキピアノ	3.....オルガン1
2.....ハーブ2	4.....ワウワウ



外部装置との接続

- AC電源端子/付属のACコードを接続します。
- ヘッドホン端子/楽器用モノラルヘッドホン接続すると、スピーカーからの音は自動的に切れ、夜間など周囲に気がねすることもなく演奏が楽しめます。
- サスティン端子/サスティンペダル(オプション)を接続すると、減衰音の場合は通常のサスティン効果が、また持続音の場合はペダルを踏んでいる間、音が鳴り続ける特殊効果が得られます。
- フットボリューム端子/演奏中に足で音量を自由にえられるフットボリューム(オプション)を接続します。
- 入力端子/リズムボックス、足鍵盤などを接続します。
- 出力端子/外部のアンプ(エレキギター用アンプ、オーディオアンプ等)に接続すると、より大きな音量で楽しむことができます。その場合の音量は本機のボリュームで調節できます。また、本機の音を直接録音するときは、この端子からテープレコーダーに接続します。
- エコー端子/エコーマシナやイコライザー等、カシオトーンの音をさらに多彩にするアクセサリーを接続します。

